



松ヶ崎だより

～学校評価特集号～

京都市左京区松ヶ崎堀町40

TEL. 075(781)3380 FAX. 075(781)3252
<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=108201>

家庭数配布

平成27年3月19日
 京都市立松ヶ崎小学校
 校長 池田 利勝

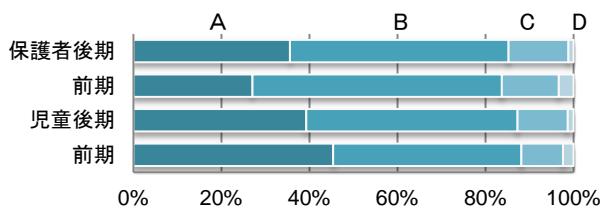


1月に後期の学校評価を実施しましたところ、264通（約87%）のご回答を頂きました。ご協力ありがとうございました。私たちは、保護者の皆様から頂きました学校評価と児童のアンケートを通して、自分たちの日頃の取組を見直すきっかけにするとともに、保護者・地域の皆様と一緒によりよい教育のあり方を探っていきたいと考えています。今回は1月の結果をお伝えするとともに、7月の結果との比較から見えてくる課題を明らかにし、今後の取組に生かしていきたいと思います。

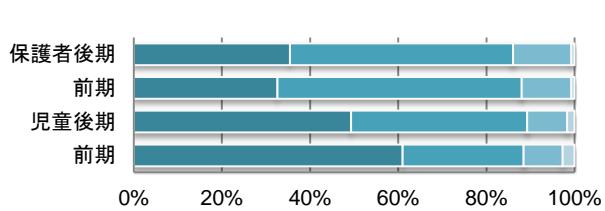
学校での様子

(A…よくできている, B…大体できている, C…あまりできていない, D…できていない)

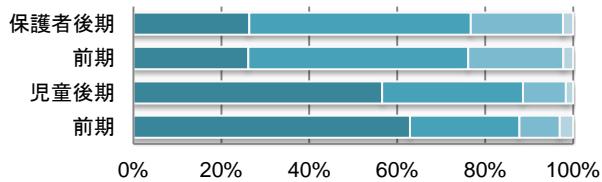
① 人の話を聞き、自分の考えを話す。



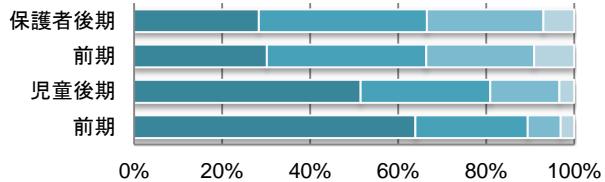
② めあてをもって努力する。



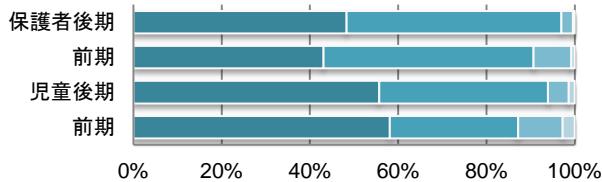
③ 分かるまで学習に取り組む。



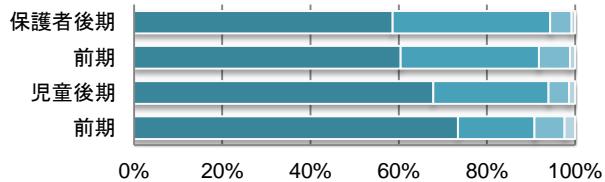
④ 読書習慣（朝読書など）。



⑤ 自分や人を大切にする気持ち。



⑥ 学校が楽しい。



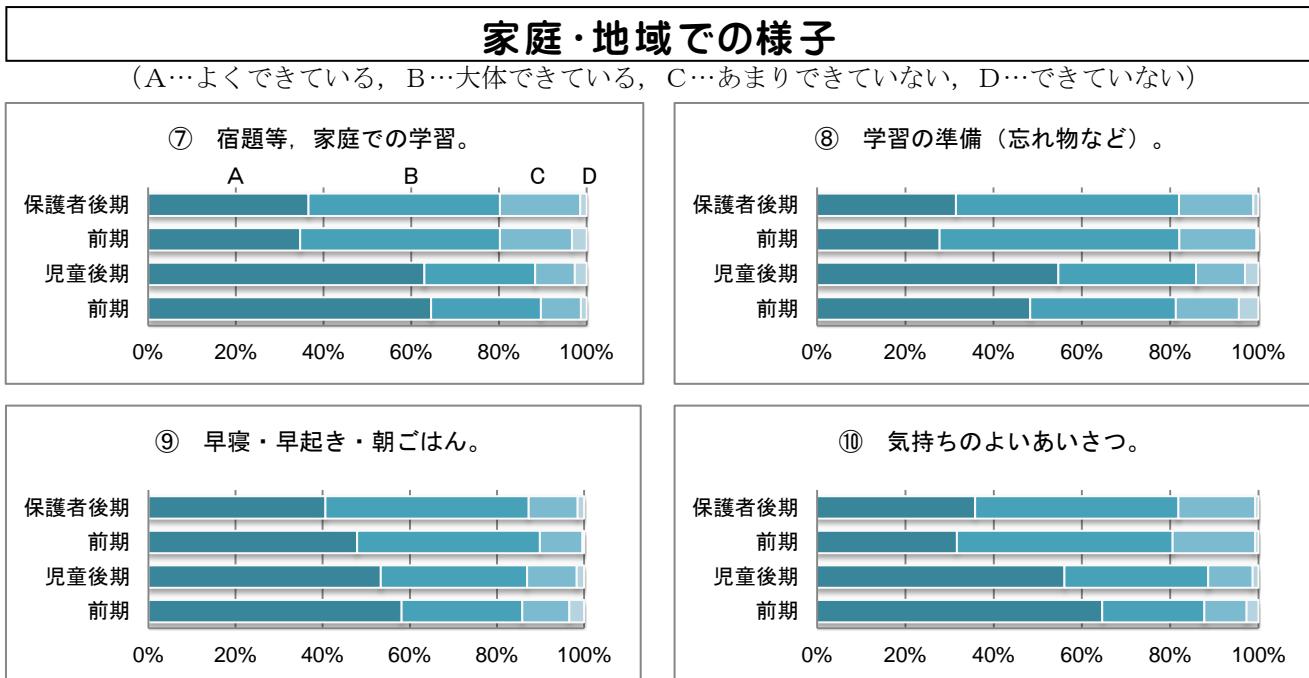
◇ ①「先生や友達の話をよく聞き、自分の考えをしっかり話している。」は、前期に比べ、保護者評価が高くなっています。参観などで子どもたちが学習集団の中で生き生きと活動する姿を見られたり、誰もが分かる、活躍できる授業を工夫してきた成果を個々の成長の中に感じ取っていただけたりしたのではないでしょうか。また、「子どもの話をしっかり聞く。」ことを大切にされているご家庭の割合も高く、子どもたちの大きな支えとなっています。ありがとうございます。

◇ ②③について、グラフでは分かりにくいですが、低・高学年ともDとする児童の割合が大きく減少しています。毎時間、見通しを持って授業を進められたことや、支援員のサポート体制の強化に取り組んできたことなどが、要因の一つと考えられます。全ての児童に響く授業となるよう、今後もさらに取り組んでいきたいと思います。

◇ 本校では毎週水曜日に朝読書に取り組んでいます。また、学校運営協議会読書企画推進委員会の方々に、読み聞かせの会や図書室の環境整備などをしていただいたり、図書支援員が読書環境づくりに取り組んだりしています。また、今年度は図書メディアセンターを開設しました。しかし昨年同様、後期に④「朝読

書などで、本を読んでいる。」の児童の割合が下がってしまったのは課題です。読書好きな児童が大変多い反面、何を選んだらよいのか分からなかったり読書に集中できなかったりする児童も少なからずいます。また、ご家庭で大切にされている項目でいちばん割合が低いのも「読書の時間を設けている。」です。特効薬ではないですが、教育的効果が非常に高いとされている読書です。今後もさらに取り組みを進めていきたいと思います。

◇ ⑤は児童・保護者ともA・Bの割合が前期より大きく伸びていて、学級集団としての高まりを感じることができます。しかし、⑥は本来ならA・B合わせて100%であるべきです。やはり全員が「学校が楽しい。」と言えるよう、全ての児童にしっかりと寄り添いながら、教育活動を進めていきたいと思います。



◇ 宿題については、多くの児童がすべきものとして捉えています。しかし、児童・保護者ともにBの割合が高いです。おそらく「言われてから始める。」「十分に力を出し切っていない。」など、その質に対する評価が含まれているものだと思います。やはり学習は「自学自習」が基本です。自分の自分による自分のための学習となるよう、さらに指導を続けていきます。「家庭学習ができるように働きかけ、環境を整えている。」の割合は決して高くありません。ぜひとも、今後もご家庭の皆様のご支援・ご協力をお願いします。

◇ 学習の準備については、前期同様、Aの割合が児童と保護者で大きく異なります。しかし、児童のA・Bの割合が大きく伸びています。約3分の2のご家庭が「忘れ物がないように、子ども自身が点検する習慣をつけている。」とされていて、その効果の表れでもあると思います。今後も「忘れものをしない。」ということとともに、「忘れ物したらどうなるのか。しないためにはどうすればよいのか。」ということを、子どもたちとともに考えていきたいですね。

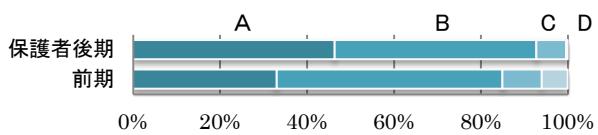
◇ ⑨「早寝・早起き・朝ごはん」などに気をつけています。では、C・Dの児童の割合が、低学年では前期より大幅に減少しているのに対し、高学年では増加しています。とくに学校外での活動が多くなってくる高学年に、本校児童の特徴（課題）でもある遅寝の傾向が顕著に表れているようです。学校では、長期休業後の生活点検等で児童の健康状態や様子などの把握に努めていますが、ご家庭でも十分に気を付けてください。

◇ 今年度の本校の重点項目である「3つの“あ”」（あいさつ・あんぜん・ありがとう）の一つである挨拶については、前期よりもA・Bの割合が児童・保護者ともに微増しています。「家族は、自分から気持ちのよい挨拶をするようにしている。」とされているご家庭も前期同様に高い割合です。今後も、家庭・地域・学校が一体となり、挨拶の大切さや素晴らしさについて子どもたちの伝えていきたいとと思います。今後とも、ご協力よろしくお願ひします。

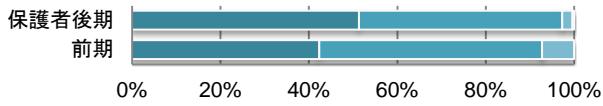
学校の取組

(A…よくできている, B…大体できている, C…あまりできていない, D…できていない)

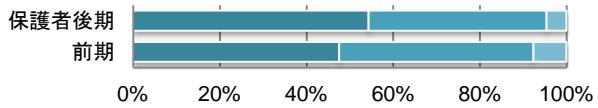
⑪ 子どもの力を引き出す授業。



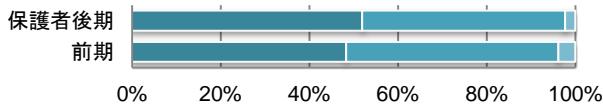
⑫ 認め合い、励まし合えるような取組。



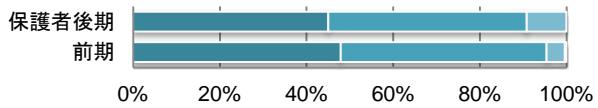
⑬ 方針や取組についての発信。



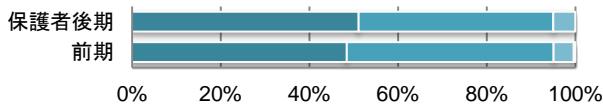
⑭ 整理整頓された学習環境。



⑮ 参観・懇談会への参加の働きかけ。



⑯ 家庭・地域との連携。



◇ ⑪については、後期もA・B合わせて90%以上と前期よりも高い評価をいただきました。ありがとうございます。本校では、今年度も環境教育を研究してまいりました。おもに、1・2年生は生活科、3年生以上は総合的な学習の時間の中で取り組んできました。どちらも、他の教科以上に児童の思いや考え、発想などが学習の要となります。指導者は、何よりも児童のおもいを大切にして授業を組み立て進めています。環境学習の研究に取り組んできたことが、他の教科学習にも良い影響を与え、このような評価をいただいたのではないかと思います。今後もさらに研究を深め、指導に生かしていきたいと思います。

◇ 学習集団としての高まりを目指すためには、まずは小さな社会である学級集団の中で互いに認め合えることが大切です。私たちは試行錯誤しながら、この学習集団を形成するために様々な取組を進めています。⑫「友達のがんばりを認め、励まし合えるものになっていますか。」において、A・Bともに大きく伸びたことは、そのような日々の積み重ねを評価していただけたものと捉えることができ、大変嬉しく思います。もちろん、これらはご家庭の理解・協力があってのことです。ありがとうございます。

◇ ⑬「学校・学年・学級の方針や取組の様子をよく分かるように伝えていますか。」については、Aの割合も増え、概ね良い評価をいただいている。しかし、⑮は前期より微減し、「参観・懇談など、学校によく足を運んでいる。」も前期より大幅に減少しています。今後の課題といたします。

◇ 児童が安全に学校生活を送れるよう、環境整備に努めることは大変重要なことです。学校では、月に1回、全教職員で安全点検を行い、安全管理に留意しています。また、効率よく学習が進められるよう、学習環境の整備・整頓にも努めています。今年度は、不同沈下が進み段差が激しくなったインターロックの補修なども行いました。ご来校された際にお気付きになったことがあれば、ご遠慮なくお知らせください。

◇ ⑯「学校は、家庭や地域と積極的に連携して活動できていますか。」の設問は、昨年度の学校運営協議会理事会でいただいたご意見をもとに、今年度前期より新設した項目です。前期同様A・B合わせて95%を超える評価をいただきました。本校が取り組んでいる環境教育は、校区内にある「妙」「法」の山や水路など豊富な地域素材を教材化して進めています。その際、学校運営協議会の皆様にはゲストティーチャーやその他さまざまな形でご協力いただき、教育的効果を高めることができます。「学び」「子ども安全」「読書」「広報」「放課後まなび教室」の各企画推進委員会の皆様には、子どもたちのために、日々活動していただいている。また、京都工芸繊維大学との小大連携にも取り組んでいて、環境学習をはじめ、美術教室（6年生）など様々な形でご協力いただいている。PTAを始め、各団体が主催する行事などにも可能な限り教職員が参加し、交流を深められるようにしています。今後も「地域の子どもは、地域で育てる。」を保護者・地域・学校が協力して実践していきたいと思います。どうぞ、よろしくお願いします。

《資料》「ご家庭で大切にされていること」
※〇の回答が多かった順に並べ替えています。 (%)

	設問	7月	1月
1	⑥ 学習のことや学校での出来事について、子どもと一緒に話をしている。	75	79
2	⑬ 学校から配られるプリント(お便り、ホームページ等)は必ず見ている。	70	78
3	① 子どもの話をしっかりと聞いている。	70	77
4	⑩ 家族は、自分から気持ちのよい挨拶をするようにしている。	76	75

	設問	7月	1月
5	⑫ 家庭では、子どものよさを認めて、ほめている。	62	72
6	⑨ 基本的な生活リズムが身に着くように条件を整え、家族で取り組んでいる。	67	68
7	② 子どもが物事に最後まで取り組めるように励ましの声かけをしている。	61	67
8	⑧ 忘れ物がないように、子ども自身が点検する習慣をつけている。	59	62
9	⑪ 日ごろの学習の様子について聞いている。	55	60

	設問	7月	1月
10	⑦ 家庭学習ができるように働きかけ、環境を整えている。	54	58
11	⑭ 参観・懇談など、学校によく足を運んでいる。	67	53
12	⑤ 子どもにも家族の役割分担をさせている。	43	52
13	⑯ PTA活動や地域の行事にできるだけ参加するようにしている。	41	38
14	④ 読書の時間を設けている。	23	25

《学校関係者評価》

3月10日に開催されました学校運営協議会理事会で、「第2回学校評価結果」を報告し、理事の皆様より貴重なご意見をいただきました。(詳細につきましては、**コミュニティ・ニュース9**をご覧ください。)

- 環境教育のプログラムが充実している。学校運営協議会、小大連携事業とのタイアップ等が後期の評価を上げていることにつながっているのだろう。3年生の学習テーマ「山」については、今後も継続して取り組んでいきたい。一年一年の積み重ねが、学生にとってもよい研究成果として表われている。前期から、よいスタートがきれるようになることが今後の課題である。
- 地域の取組、環境教育の取組は、よくまとまっている。3月22日(日)に、シンポジウムを行う。
【いのちにぎわう 宝ヶ池公園を未来へ 宝ヶ池から世界へ みんなでとりくもう楽しい森づくり
13:00～16:30 会場：国立京都国際会館 Room B-1】
松ヶ崎小学校の取組の冊子も紹介される。地域に広く発信できるよい機会となるだろう。
- 総合的な学習の時間の取組は、指導者がちがえば、ゴールが同じでもストーリーの展開の仕方がちがう。しかし、継続していってほしい。
- PTA行事の参加者が少ないのが気になる。もっと関心をもっていただきたい。
- 参加者を呼びかけている。PTA役員は、やっと慣れてきた頃にかわってしまうので、残念である。
- 4年生の交通安全教室には、たくさんの保護者の方がサポートしていただいた。
- 「あいさつ」については、今まで「おはようございます。」であったのが、「いつもありがとうございます。」や最近では、「一年間ありがとうございました。」「お母さんが『よろしくと言っておいてください。』と言っていました。」・・・。このように言ってくれることがとてもうれしい。

1年間を振り返って・・・

- ★ 「あいさつ」は、効果が上がっている。
- ★ 昨年とのつながりもあり、小大連携は、スムーズにできていた。
- ★ 「さし踊」講習会では、たくさんの方が参加した。夏祭り、区民運動会で、踊れる人たちが増えている。6年生の総合的な学習の時間では、テーマとしても取り上げられていた。来年度も、取り上げていただけるとありがたい。
- ★ 今年度は、「学び」の関わりが少なかったように思う。いろいろな知識や経験をもっておられる地域の方が多いので、子どもたちの学習時間に、お呼びするとよいだろう。地域の方と一緒に学んだことは、子どもたちの心の中に届くであろう。また、子どもたちも生き生きと学習するであろう。
- ★ 1年間の子どもたちの成長は大きい。先日、1年生の教室を参観する機会があった。子どもたちは、気持ちをこめて詩を読んでいた。
- ★ 平成19年に学校運営協議会が発足し、8年になる。しかし、学校運営協議会を知らない方もいるのではないか。地域のコミュニティセンターとして、開かれた学校として、松ヶ崎小学校のイメージアップを図っていきたい。
- ★ PTA行事の参加者が少ないよう思う。たくさんの方が関心をもって参加していただければ・・・。
- ★ PTA行事参加は、長年の課題もある。どのようにすれば、たくさんの方に参加していただけるか、考えていきたい。
- ★ PTA役員の方々は、多くの行事の中、大変がんばってしていただいている。なれた頃に交代となるが、引継ぎを大事にしていきたい。
- ★ 登校時の見守りをしているが、知らない方も多い。何かの機会に、交流できればと考える。「つながり」を大事にすることが大切。
- ★ いろいろな学習時間に子どもたちは、地域の方にお世話になった。新しいことを教えてもらうと、子どもたちは、目を輝かせて取り組んでいる。